平成28年10月
第10号

ふじおの 福祉だより

藤尾学区
社会福祉協議会

ひとり暮らし老人給食サービス（通称　ふれあい給食）

「ひとり暮らし老人給食サービスは、故　竹内正前会長が、平成２年10月から始められ、今年で26年目になります。内容は下記のとおりです。希望者は各自治会担当の民生委員児童委員に相談してください。

- 対象：70歳以上一人暮らし希望者
- 費用：無料（共同募金会　大津市補助）
- 実施：年間８回（6～9月間は休み）
- 調理：藤尾市民センター
  給食ｻｰﾋﾞｽ実施委員会（ボランティア）
- 市民センターに来られない人
  配食：民生委員児童委員
  （自治会によっては自治会長、福祉委員）
- 市民センターに来られる人
  会食：市民センターで約２０人でおしゃべりしながら楽しく食べておられます。

会食風景

特別賛助会員ご協力のお願い

昨年度は、個人会員755、企業会員36団体より総額954,000円のご協力を得ました。この協力金は、障がい者、高齢者、子ども等の対策費として一般会計に50万円を繰り入れし、

ただし、昨年は、53歳の男性の方が子どもにスポーツを指導しているとき、突如倒れられ心肺停止状態になり亡くなられました。こんな時「ＡＥＤ」があればとの事で、自治連合会の協力を得て、この会計からＡＥＤを378,000円で購入しました。設置場所は藤尾市民センターです。

残額は、平成25年９月の台風18号のような災害、琵琶湖西岸帯地震、南海トラフ大地震等の災害に備えて使用できる災害対策費として積み立てます。

つきましては、今年度も11月に特別会賛助会員募集をさせて頂きますのでご協力くださいますようお願い申し上げます。

おまかせパトロール実態調査協力のお願い

今年も全国で痛ましい事件が多発しております。大津市内でも不審者、変質者、引ったくり、空き巣、車上荒らし等がいまだに多発しています。

毎年11月行っております「おまかせパトロールの実態調査」のお願いを、ご協力者に福祉委員がお伺いいたしますのでご協力よろしくお願いします。

1．調査用紙：福祉委員が協力者にお渡しします。
2．調査期間：11月１日から30日までの１か月間
3．提　出　：１２月１０日までに福祉委員に渡してください。
（福祉委員が集めに行く自治会もあります。）

裏面あり

社協と人推協共催の研修会報告

９月１２日（月）、大津市社協の福祉バスを利用して、障がい者施設「ワークセンター紫香楽」と滋賀県防災航空隊滋賀の施設を３１名の参加で研修して来ました。

ワークセンター紫香楽では、知的障のある人たちの４つの願い、①働きたい、②無用の存在でなく③有用の存在であると思われたい。④皆と一緒に暮らしたい。楽しく生きたい。を目的にと説明を受け、その後、和紙すき体験をさせてもらいました。

防災航空隊では、救急活動、救助活動、火災防御活動、災害応急対策活動と多くの活動をされています。その中の救助活動を実際に見せて頂きました。参加者はこの見学で感激されていました。

参加者の声１

お天気にも恵まれ、大変良かったです。午前中はワークセンター紫香楽。和紙をすくうと言う初体験、知的障がい者の方のお手本で見習って頑張ってみましたが力の入れ具合等、なかなか難しかったです。

そこで働いておられる障がい者の方は皆さん、慣れた手つきでスムーズにこなされ、また得意そうに笑顔で作業されているのを見て、楽しい職場なんだなぁと感じました。

午後からは、防災航空隊で実際に救助活動の実演を見学。テレビ等で見ているのとは大違い、天気、気温、風等の気候によって随分左右され難航するとの事です。隊員の方に頭が下がる思いです。１機１２億円もするヘリコプターを出して私たちに訓練見学と、大変貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

一つ残念なことは、昼食時間が少なくなり、ゆっくり出来なかったことです。

これも思い出の一つかな？

匿名希望

参加者の声２

９月 12 日、前日まで雨の予報でしたが、降雨もなく、バスでの視察研修に参加いたしました。市民センターを 31 名で出発し、信楽の「ワークセンター紫香楽」（知的障がい者施設）を見学しました。施設長のお話を伺いました。障がいのある方々が日々お仕事をされている事、また、障がい者に対する「知識」と「意識」を持って支援されている事、出来ない事より、出来る事を探して「感性」と「理解」がとても重要である事をお聞きしました。その後、参加者全員で世界に一枚だけの楮（こうぞ）和紙を漉きました。もっと大勢の方々が見学に来られて世間に理解を広めて頂くと良いのにと感じました。

新名神土山ＳＡで昼食後、日野の「防災航空隊」を見学しました。そこでの主な活動は、医療救急、救助、火災防御、災害応急対策などで、災害時や山岳遭難事故時の重要な活動をお伺いしました。隊長と隊員、操縦士、整備士、運行管理の方々は 365 日体制で活動されています。実際に防災ヘリが飛び救助訓練を見学しました。活動のための厳しい訓練を行っておられること、隊員は体重制限があること等々、初めて聞くことばかりで貴重な体験をさせていただきました。今後も多くの方が参加され見聞を広めるといいかと思います。

伊達　千恵子（稲葉台）